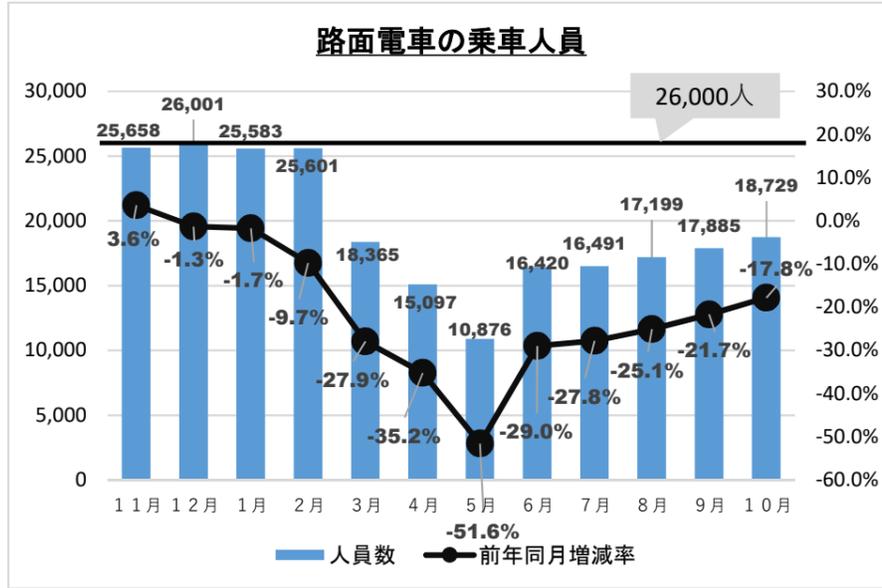


1 乗車人員の状況



＜乗車人員の状況＞

○路面電車、地下鉄ともに、1月までの乗車人員は、おおむね前年度と同水準を維持してきた。

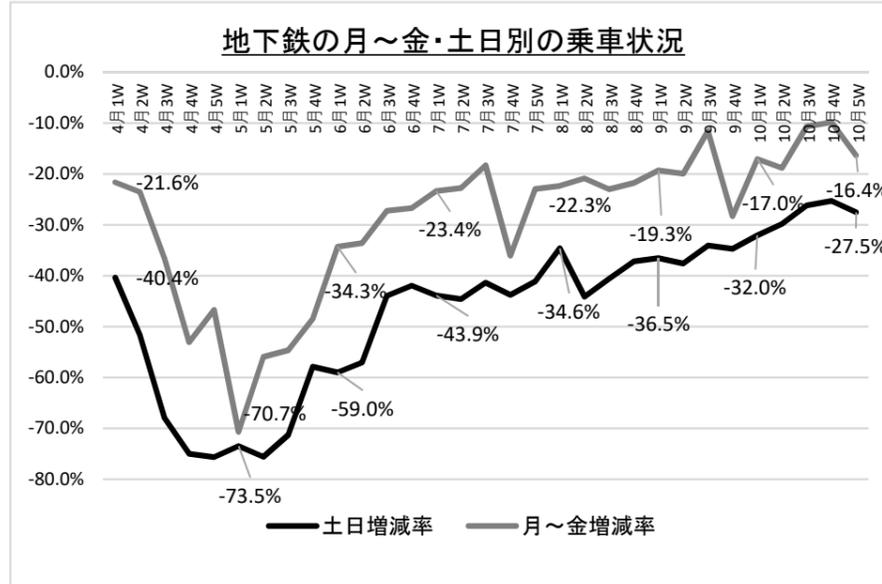
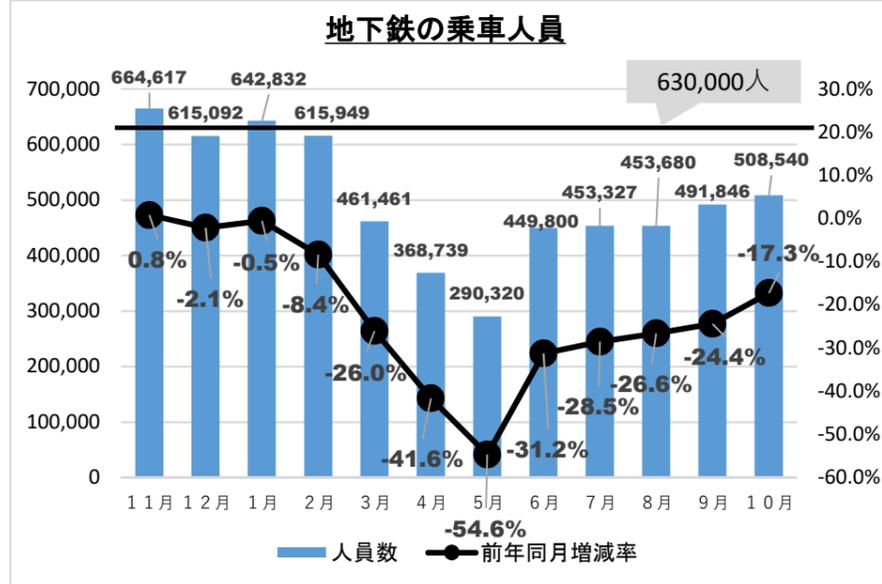
○しかし、新型コロナウイルス感染拡大により、2月以降の乗車人員は大幅に悪化

【路面電車】
・4月▲35.2%、5月▲51.6%
【地下鉄】
・4月▲41.6%、5月▲54.6%

○国の緊急事態宣言が解除された6月以降は少しずつ回復しているが、最近はやや緩やかな回復にとどまる。

○今後の乗車人員の動向は、新型コロナウイルス感染状況に左右され、極めて不透明

○令和2年度の4～10月までの平均乗車人員は、【路面電車】16,095人、【地下鉄】430,811人となり、札幌市交通事業経営計画に定める目指す乗車人員との比較では、【路面電車】61.9%、【地下鉄】68.4%にとどまっている。



＜曜日別の乗車状況＞【地下鉄】

○週次の改札機通過人数では、直近では、月～金は▲20%程度、土日は▲30%程度となっており、特に土日の減少幅が大きい。

※左図は、改札機において日単位で集計した通過人員をもとに作成したものであり、公表値とは異なります。

2 乗車料収入の状況

【路面電車】

	2年度 (千円)	元年度 (千円)	増減 (千円)	前年度比 (%)
4月	73,694	114,753	▲41,058	▲35.8
5月	54,703	114,066	▲59,362	▲52.0
6月	81,090	113,541	▲32,452	▲28.6
7月	85,678	117,129	▲31,451	▲26.9
8月	89,100	117,942	▲28,841	▲24.5
9月	89,289	111,597	▲22,308	▲20.0
10月	96,663	115,806	▲19,143	▲16.5
計			▲234,615	

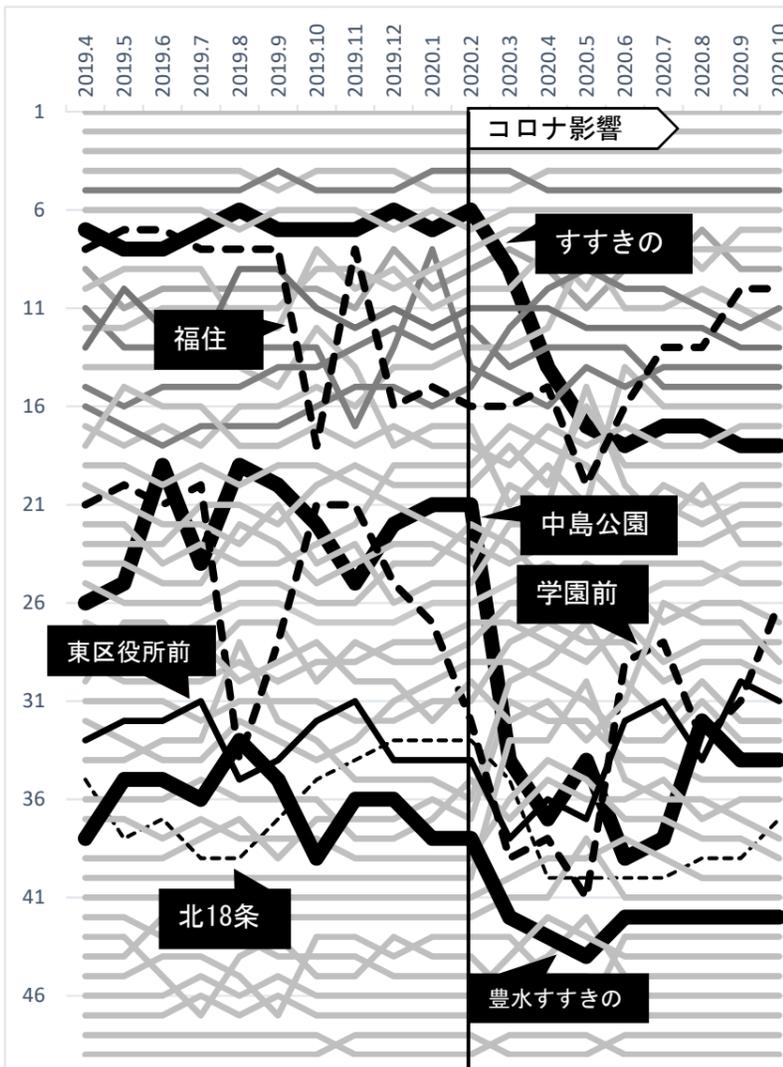
【地下鉄】

	2年度 (千円)	元年度 (千円)	増減 (千円)	前年度比 (%)
4月	2,127,071	3,412,872	▲1,285,801	▲37.7
5月	1,707,212	3,568,616	▲1,861,404	▲52.2
6月	2,526,697	3,528,169	▲1,001,472	▲28.4
7月	2,661,445	3,582,135	▲920,690	▲25.7
8月	2,626,938	3,505,854	▲878,917	▲25.1
9月	2,744,162	3,482,582	▲738,420	▲21.2
10月	2,931,901	3,469,689	▲537,788	▲15.5
計			▲7,224,492	

＜乗車料収入の状況＞

○4～10月の乗車料収入は、前年度比で大きく下回っており、7か月間合計では、【路面電車】2億3,400万円ほど、【地下鉄】72億2,400万円ほど減少している。

3 駅別改札機通過人員の順位



＜駅別改札機通過人員の順位＞

○観光客の激減や歓楽街への外出自粛等により、中島公園、すすきの、豊水すすきのの順位は後退したままとなっている。

【順位('20年1月→10月)】
・中島公園: 21位→34位
・すすきの: 7位→18位
・豊水すすきの: 38位→42位

○学園前や東区役所前は、学校休業の影響により3月～5月の順位が大きく後退したものの、その後回復傾向となっている。

【順位('20年1月→5月→10月)】
・学園前: 27位→41位→26位
・東区役所前: 34位→37位→31位

○札幌ドームのイベント自粛により、福住は大きく後退したが、その後のイベント再開により、回復傾向となっている。

【順位('19年9月→'20年5月→10月)】
・福住: 8位→20位→10位

※左図は、改札機において日単位で集計した通過人員をもとに作成したものであり、公表値とは異なります。